

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		稲荷山医療福祉センター児童発達支援センターたんぼぼ				公表日	8年 3月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	3	・室内をかなり整理し、出来るだけスペースを確保している ・ワンフロア内で目が行き届くように工夫している	・長期休み時には改善が必要か ・長期休みにはスペースが狭い ・学童の夏休み、冬休み等、長い休み中は部屋がいっぱいになる ・身体もどんどん大きく成長する中、車いすもおおきくなり、1フロアでは手狭	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	4	・看護師、保育士が連携をはかり支援にあたっている ・職員募集をしている	・長期休み時には改善必要か ・長期休みの時等は改善？ ・医ケア児が増え、機器類も多い。医療的な知識、専門的なケアの出来るスタッフが必要 ・ダブルチェック等で気を付けている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	・お手拭きや消毒、職員介助で手洗いなどを行っている	・利用児の身体状況などにより、利用児の水道利用が難しい子が多い	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	・現状の空間で出来る限りのことはしている ・夏は、暑がりの子が多く、扇風機をフル活動している		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	・個室がない為、必要時には保健室や学習室を利用している	・個別対応の部屋、空間がない ・個室、別室がない	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	2	・ミーティング等で課題を出し合い検討していくようにする		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・保護者会などの機会でのご意見に真摯に向き合うように努めている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	3	・ミーティングなどで広く意見を求めるように努めていく		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6				
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	・ミーティングや支援計画の共有を深める		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	・中間評価や達成評価の共有を深める		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1			

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	3	・チームで立案した活動プログラムの共有を図る		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	・個室がなく、個別時間での活動は難しいが、リハビリで個別の取り組みをした内容を、集団活動内で個別の課題も持って取り組んでいる		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	・申し送り時に行っている確認を徹底する		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	・タイミングを工夫して徹底していく		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6				
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・必要に応じ申し送り作成している		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・医ケア児は医療情報の共有も必須		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	3		・相談室が中心となり地域状況等の把握等を行っている。また、必要時には各事業所と行き来し情報共有等を図っている		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	1	・外部研修に参加を出来る工夫をしていきたい		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	1	・相談室が中心となり地域の自立支援委員会に参加している。また、必要時には通園職員が参加する機会も取っている		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		3	・感染対策等により地域園との交流は出来ていない。地域の支援センター等に出向き、地域のお子さんと一緒に場で楽しみ機会を取り入れている			

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・引き続き、保護者の方とお子さんの状況や課題について共通理解を深める機会を深めていく	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3	・断片的になりがちな家族への支援アプローチをプログラムとして提案できる工夫をしていく	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・個別懇談時など丁寧な説明、理解に努める	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・アセスメントや意向の聞き取りを深める	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・日常的に相談のあったときは対応しているさらに、相談しやすい体勢に工夫していく	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		・兄弟間での交流の場は設けていないが、行事などの内容によって、兄弟で参加できる場面もある	
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・相談や申し入れに、さらに迅速、適切に対応できるよう努める	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		・引き続き、定期の「おたより」での発信やホームページでセンター全体のお知らせを発信していく	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・引き続き、個人情報の取り扱いには十分留意していく	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・それぞれの状況に応じ丁寧かつ意向を踏まえた情報伝達を心掛けていく	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1	・感染対策により地域の方も参加していただけるセンターイベントが行えていない ・年1回、地域消防団等が参加して下さる防災訓練が出来ている	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	・周知の方法を検討する	・マニュアルにあるも、周知できていない
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・避難訓練を行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・引き続きインシデント報告用紙の活用とヒヤリハットの共有と再発防止策の徹底を図る	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・定期の虐待防止チェック用紙の活用と研修会の確保に努める		

53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		・やむを得ない身体拘束について組織的な決定の過程の継続、子どもや保護者への説明、了解を得る過程の徹底を図る	
----	--	---	--	---	--